

市のブランドメッセージ（ロゴマーク・ステートメント）
『水遊都市 KOSHIGAYA』を策定！
埼玉県出身芸人：パーマ大佐が熱唱する「水遊都市伝説」動画も公開

越谷市では、地域の価値を創造し、市内外に効果的に発信するシティプロモーションを推進しています。

このたび、地域が持つ独自の魅力や資源を活かし地域の価値を高め共感とともに発信していくためのブランドメッセージ『水遊都市 KOSHIGAYA』を下記のとおり、策定しました。

ブランドメッセージの策定にあたっては、昨年度にシティプロモーションアクションプランの策定とあわせて実施した市民ワークショップ（計4回開催、のべ124人の参加）での意見を踏まえ、「5本の一級河川やレイクタウンの水辺」、「暮らしやすさやライフスタイルの充実」、「歴史と新しさの融合」、「人と人とのつながり」などの地域の魅力をデザイン等で表現しています。

また、策定したブランドメッセージの市内外への訴求を目的としたプロモーションコンテンツとして、「KOSHIGAYA 水遊都市伝説」の冊子と動画を制作しました。この冊子と動画では、市民のみなさんから集めた越谷市の知られざる魅力や人に話したくなるローカルなネタを集めて編集しています。

今後、プロモーションコンテンツの「KOSHIGAYA 水遊都市伝説」を活用するとともに、注目度の高いWeb広告、市内外のタッチポイントとなる市内各駅での交通広告やイオンレイクタウンでのPR、さらには、市内外から関係者を巻き込み、共感を生むギネスイベントの開催等を通じてブランドメッセージの浸透を図っていきます。

記

1 ブランドメッセージ『水遊都市 KOSHIGAYA』



5本の一級河川が流れ、水によってかたちづくられた自然を基盤に美しいまちなみが広がる。ここ越谷市は、豊かな水辺が自慢の都市です。色とりどりの花が咲き、季節ごとに様々な鳥たちが集まる。そんな水辺では、多くの市民が、つながり、今日も新しいワクワクが生まれていく。水郷としての歴史・文化をもつ越谷市は、今、水辺で遊ぶように暮らす都市として楽しい変化の真っ只中です。

2 プロモーションコンテンツ「KOSHIGAYA 水遊都市伝説」

【冊子】



【動画】



3 ブランドメッセージ発表セレモニー

- (1) 日時 令和7年（2025年）1月27日（月）11時30分～
- (2) 場所 市役所エントランス棟1階
- (3) 内容 市長によるブランドメッセージおよびプロモーションコンテンツの発表
ゲスト：三寺雅人氏（クリエイティブ・ディレクター）、パーマ大佐（お笑いタレント）

【参考】

●ブランドメッセージ『水遊都市 KOSHIGAYA』について

市民ワークショップ（計4回開催、のべ124人の参加）での意見を踏まえ、「5本の一級河川やレイクタウンの水辺」、「暮らしやすさやライフスタイルの充実」、「歴史と新しさの融合」、「人と人とのつながり」などの地域の魅力をキーワードにクリエイティブ・ディレクターの三寺雅人氏（FACT）がデザインしました。

【ワークショップの様子】



【ワークショップでの主な意見】

- ・「水郷こしがや」として発展した歴史的経緯がしっかりと継承されている
- ・多様な人々が集える水辺空間が活用されている
- ・豊かな水辺環境を活かした交流や挑戦、生きがい生まれている
- ・5本の一級河川をはじめとした自然環境と生活利便性とのバランスが取れている
- ・幾多の水害とそれを乗り越えた経験がある。
- ・新(越谷レイクタウン)旧(越ヶ谷宿)の魅力や資源が活用されている
- ・マルシェやイベントが多く、人のつながりが生まれている

●プロモーションコンテンツ「KOSHIGAYA 水遊都市伝説」について

市民のみなさんから集めた越谷市の知られざる魅力や人に話したくなるローカルなネタを集めて冊子と動画を作成しました。多くの方が共感するネタを集め、興味を引き付けるインパクトのあるイラスト並びに映像と音楽を多用するとともに、映像には、親しみと共感の輪が広がるよう地域の関係者が多数出演しています。若い世代への訴求を考え、TikTok フォロワー21万人を超えるパーマ大佐を起用して、シェアしたくなるコンテンツを目指し、映像監督の有馬研吾氏が手がけました。冊子は、市内各駅や飲食店、カフェ並びに公共施設等で配布し、映像は、YouTube 市公式チャンネル、公共施設等のモニターで公開します。

【制作の様子】



YouTube 市公式チャンネル シティプロモーションサイト



【水遊都市伝説のトピックス】

- 1 鴨場と哀愁漂うガーヤちゃん？（宮内庁埼玉鴨場、越谷特別市民「ガーヤちゃん」）
- 2 徳川家康が越谷の形をつくった？（徳川家康、大規模治水事業）
- 3 日本一の高さから見る巨大アート？（こしがや田んぼアート）
- 4 小さな星の花が咲く幻の水草？（コシガヤホシクサ）
- 5 日本一暑い市が生んだ氷の王様？（越ヶ谷製氷冷蔵株式会社）
- 6 もうひとつの越谷が浮かぶ池？（大吉調節池）
- 7 宙に浮かぶ越谷スカイメロン？（越谷スカイメロン）
- 8 水辺で乾杯するための BEER？（越谷水辺エール）
- 9 あの千疋屋総本店のルーツ？（千疋屋総本店）
- 10 天然のうなぎも泳ぐレイクタウン？（レイクタウン生きもの調査）

●ブランドメッセージ発表セレモニーについて

各種メディアおよびブランドメッセージの決定に関わったみなさんを招待し、ブランドメッセージの発表セレモニーを行います。セレモニーでは、市長が自らブランドメッセージに込められた市の魅力やまちづくりの方向性について発表します。ゲストとしてロゴやステートメントのデザイン並びにプロモーションコンテンツの制作に関わったクリエイティブ・ディレクターの三寺雅人氏のゲストスピーチや動画に出演したお笑いタレントのパーマ大佐の生歌披露も予定しています。



●ブランドメッセージのロゴ等の活用について

企業、団体をはじめ市民のみなさんに活用いただけます。イベントやマルシェの開催チラシやポスター、冊子を作成の際、ご活用いただけます。また、市では、ブランドメッセージを活用した、クリアファイルおよび紙袋を製作しました。このほか、記者会見や式典で使用するバックボード、名刺のデザインに使用できるテンプレート等を作成しました。さらに、ユニクロイオンレイクタウンkaze 店では、ブランドメッセージのロゴ等をデザインしたTシャツやトートバッグ等の販売を予定しています。

(クリアファイル)



(紙 袋)



(バックパネル)



(名 刺)



(刊行物：こしがや案内図)



(Tシャツ、トートバッグ)
※画像はイメージ



※三寺雅人（クリエイティブ・ディレクター）



越谷生まれ越谷育ちの私にとってこのような機会を頂けたこと、市民のみなさんと越谷市の未来のために活動できることは大変光栄なことです。水と遊ぶように暮らせるまち『水遊都市 KOSHIGAYA』として、新たな魅力発信やイメージアップ、まちの活性化を加速していく、そんなプロモーションにしていければと思っています。

【略歴】

広告代理店で CM プランナーとしてキャリアスタート。2003 年に外資系のクリエイティブエージェンシーへ転職し、2009 年「タ張夫妻プロジェクト」でカンヌライオンズのプロモ部門で日本初となるグランプリを受賞。同年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリストに選出。令和とともに自身の会社 FACT を立ち上げる。国内外で 300 を超える広告賞を受賞している。また、カンヌを代表とする国際広告賞の審査員、宣伝会議などでの講師歴も長く、趣味はまちおこし。佐賀県や佐賀市、静岡県伊東市などの外部クリエイティブ・ディレクターを務めシティプロモーションを手がけている。

※有馬研吾（映像監督）



この PR 動画は、まだまだ始まりに過ぎません。この PR 動画をご覧いただき、越谷市に興味をお持ちになられた方々が越谷市にお越しいただくと、その結果、越谷市が、まずは埼玉県の県庁所在地になり、そして、東京都の人口を超え、ゆくゆくは日本の首都になり、最終的には「世界の越谷市」と呼ばれる、その日が来るまで、越谷市の都市伝説を紹介していきたいと思います。

【略歴】

電通プロックスを経て、2002 年独立。以来 TVCM や WEB 動画を中心とした映像制作において、企画・演出から音楽制作まで幅広い分野で活躍し続けている。最近の主な CM はカーコンビニ倶楽部、大鵬薬品、DMM. com 証券、日清、マクドナルド、ヤマキなど。WEB 動画では、ハイコーキ、バンダイナムコ、三菱電機、meiji など。アジア太平洋広告祭ブロンズ、タイムズアジア・パシフィック広告祭ゴールド、ACC CM FESTIVAL 金賞、広告電通賞金賞など、国内外の広告賞を多数受賞。

※パーマ大佐（お笑いタレント）



生まれも育ちも名前の由来も埼玉、歌ネタ芸人のパーマ大佐です。高校生の時に漫才をした越谷レイクタウンがある越谷市の PR をさせて頂ける事、大変光栄に思っております。越谷市の魅力を伝えられるように全力で取り組んで参ります！

【略歴】

太田プロダクション所属の歌ネタ芸人。19 歳で NHK「オンバト+」で最年少 0A を果たし、22 歳で MBS「歌ネタ王決定戦」最年少で決勝に進出、24 歳で NHK「NHK 新人お笑い大賞」本選に進出。幼少期に習ったクラシックピアノを基礎に、ウクレレ・ボイスパーカッション・DTM を駆使した歌ネタやコミックソングを作り続け、近年は楽曲提供にも力を入れている。X、Instagram をはじめ、YouTube や TikTok の総フォロワー数は 45 万人超、ネットでもファンを獲得している。